

ふれあいのまちづくり

ゆうやけの里

第60号 令和7年9月30日

発行: 恩方地区住民協議会広報部 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団
事務局: 恩方市民センター内 八王子市西寺方町260-4 ☎ 042-652-3333
FAX 042-659-2776

あれから12年、途中コロナ禍による1年間の中止や八王子市の講座からの卒業などを経て、現在毎回の参加者が40名を超えるまでになり、恩方地区住民協議会の目指す「恩方地域の活性化」「地域住民の健康増進」「地域発展のためのまちづくり活動」などに充分に寄与しているのではないかと自負しているところです。

近頃は体育室のキヤバを超えるのではないかと要らぬ心配までしております。

健康新体操というと何か堅苦しいもの想像されるかもしれません、軽いストレッチから始まり、有酸素運動、マットを利用してのヨガで終わる、ご自身の力に応じてどのようにでも調整出来る運動です。

参加者の中には第1回目から参加されている方もあり、最高齢は87歳。その体操の様子を拝見しております。

令和7年2月23日に、恩方市民センターに於いて開催されました。

この懇談会は、恩方地区住民協議会主催、恩方地区町会・自治会連合会共催で、毎年市の関係部署の方々を始めとして、多くの参加者を得て実施しています。

今回は、6事例の報告と話し合いが行われました。

(1) 地域づくり推進会議のこの1年の様子

- 八王子市が進めているこの会議体は、現在市内で5団体あり、恩方地区としては、昨年2月に発足しました。
- 推進会議の目的は「多様な人々が協力し合い自分達の住む場所をより良くしていくための活動や取り組みのこと」
- この1年間、恩方の魅力、課題、将来について意見交換をし、「空き家問題」「獣害問題」「子育環境の充実」等について取り組んできました。
- 「子ども達が親になんでも住んでくれる住みやすい町」「子育て世代の方々に学校と地域のコミュニケーションなどの魅力を伝えたい」という思いからその為には何をしますか?
- それは、子育て世代と楽しみが共ができるイベント、遊べる場所などが

第16回 恩方地区まちづくり懇談会

令和7年2月23日に、恩方市民センターに於いて開催されました。

この懇談会は、恩方地区住民協議会主催、恩方地区町会・自治会連合会共催で、毎年市の関係部署の方々を始めとして、多くの参加者を得て実施しています。

今回は、6事例の報告と話し合いが行われました。

(1) 地域づくり推進会議のこの1年の様子

- 八王子市が進めているこの会議体は、現在市内で5団体あり、恩方地区としては、昨年2月に発足しました。
- 推進会議の目的は「多様な人々が協力し合い自分達の住む場所をより良くしていくための活動や取り組みのこと」
- この1年間、恩方の魅力、課題、将来について意見交換をし、「空き家問題」「獣害問題」「子育環境の充実」等について取り組んできました。
- 「子ども達が親になんでも住んでくれる住みやすい町」「子育て世代の方々に学校と地域のコミュニケーションなどの魅力を伝えたい」という思いからその為には何をしますか?
- それは、子育て世代と楽しみが共ができるイベント、遊べる場所などが

必要であり、有効な子どもの居場所を展開しています。

(3) 八王子市内の空き家の数の割合は東京都全体の平均より多く、近隣住民の相談件数は年々増加している

(4) 川口地区の獣害対策について

- 川口地区に於ける獣害については、イノシシ、サル等の野生動物の生息数の増加等に伴い農作物を食べたり、人が生活している場所に出没し各地域で被害が増加している。
- 対策としては、適切な動物の侵入防止柵の設置、餌となるものの除去、隠れる場所の除去や捕獲対応など、地域住民と行政と連携し様々な活動をしています。

(5) 恩方地区における防災活動について

- 災害による被害の軽減するには、自主防災組織や、町会自治会など、防災体制の強化が必要であり、私達は日々積極的に活動している。
- 特に年に1度の「小田野中央公園」に於ける消防署、消防団、町会・自治会の多くの参加者を得て大規模な訓練を実施している。

(6) 恩方地区における防災活動として

「家庭の防火は私達の手で」スローガンに女性の立場で、家庭に地域の防災活動の向上を目的として、活動をしている。

各地域の防火・防災訓練の指導や救命講習など年間行事として行なっています。

特に、「恩方市民センターまつり」に於ける「防災時の訓練」として、カーボンナードの参加者への食事の提供をしている。

「健康体操教室」500回超え
♪継続は力なり♪
住民協体育部 松本英治
区住民協議会共催の「健康体操教室」が、今年5月13日に開催500回目を迎えた。

平成25年7月2日に八王子市の「やさしいフィットネス」という講座を母体にスタートした第1回目は25名の参加者でした。

あれから12年、途中コロナ禍による1年間の中止や八王子市の講座からの卒業などを経て、現在毎回の参加者が40名を超えるまでになり、恩方地区住民協議会の目指す「恩方地域の活性化」「地域住民の健康増進」「地域発展のためのまちづくり活動」などに充分に寄与しているのではないかと自負しているところです。

近頃は体育室のキヤバを超えるのではないかと要らぬ心配までしております。

健康新体操というと何か堅苦しいもの想像されるかもしれません、軽いストレッチから始まり、有酸素運動、マットを利用してのヨガで終わる、ご自身の力に応じてどのようにでも調整出来る運動です。

参加者の中には第1回目から参加されている方もあり、最高齢は87歳。

その体操の様子を拝見しております。

そんな参加者の皆様方のお気持ちには皆勤賞贈呈しております。

皆勤賞にはグルメシティ高尾店の「黄色いレシートキヤンペーン」から提供頂いているティッシュペーパーやラップなどの生活雑貨品をあてており、決して高価なものではありませんが、参加者からは「参加する励みになる」とのお声を頂いております。又、長らく体操のご指導を続けて頂いている井上先生には講師料や日程調整もご協力頂き、感謝の言葉しかありません。

本当にありがとうございます。

これからも「健康体操教室」は100回を目指してスタッフ一同頑張つて続けて参る所存です。

まだ「健康体操教室」に参加したことが無いという恩方地区的皆さま方、スタッフ一同市民センターでお待ちしておりますので、どうぞ一度参加されてみてはいかがですか。

総合事業はいくつかありますが、この恩方では、ちょっととした困りごとを助けてくれる「住民主体による助け合い」を行っている団体が五つあるので、紹介させていただきます。

- ティータイム「頼もう会」
- おだのみや会
- フキノトウ
- 恩方ベース
- 小津俱楽部
- これらの団体では高齢者に対し、介護保険ではできない庭木の手入れや電球交換、その他の生活支援を行っています。

これらのこと興味がある、参加してみたいという方は、生活支援センター恩方相談センター恩方相談してみて下さい。

恩方地区住民協議会の福祉部では、これからも、楽しく学べる「恩方地区福祉講座」を開催していきます。今後もよろしくお願いいたします。

「家庭の防火は私達の手で」スローガンに女性の立場で、家庭に地域の防災活動の向上を目的として、活動をしている。

各地域の防火・防災訓練の指導や救命講習など年間行事として行なっています。

特に、「恩方市民センターまつり」に於ける「防災時の訓練」として、カーボンナードの参加者への食事の提供をしている。



